

平成31年度JKA補助事業に係る導入機器の評価について

【令和2(2020)年4月24日(金) 11:00～ 産業技術センター所長室】

- 1 参集者 野原所長、大嶋副所長、山本副所長兼管理部長、伊藤副所長兼技術交流部長
荒山機械電子技術部長、松本材料技術部長、岡本食品技術部長
諏訪繊維技術支援センター長、小野県南技術支援センター長
赤羽紬織物技術支援センター長、大歳窯業技術支援センター長
- 2 導入した機器
三次元座標測定機（県南技術支援センター）
ア 機種 ミットヨ製 LEGEX776
イ 購入先 日本電計(株)宇都宮営業所
- 3 実施経過
平成31(2019)年 4月 5日 銘柄指定委員会開催
6月27日 一般競争入札実施
6月28日 購入契約締結
令和2(2020)年 3月 6日 納品、検収
3月30日 支払い
- 4 現在までの使用状況
正副担当2名を配置し、運用を開始した。機器導入から約1ヶ月で、測定機の新機能確認やマニュアル作成、機器のトレーニング等で22件利用した。従来からの利用企業2社から利用に関する問い合わせや、県内企業1社から機器取り扱い研修の申込み(2名)があったが、新型コロナウイルス感染症の流行による影響で利用を見合わせている状況である。
- 5 今後予想される波及効果
中小企業では導入が難しい高精度・高機能の機器を整備し、企業利用に供するとともに第三者機関・公的機関として試験を実施することで、自動車、航空機、医療関連等の機械金属工業関連企業における製品開発の活性化や部品等の信頼性向上が図られ、地域企業の更なる受注増、地域経済の発展が期待できる。
- 6 総括
県内中小機械工業者のニーズの把握やそれに基づく機器仕様の検討について、本庁工業振興課と産業技術センターが連携して、取り組んできた。これにより、交付決定後、速やかに銘柄指定委員会を開催し、機器仕様を決定することができた。しかし、残念なことに、利用開始時期が、新型コロナウイルス感染症の世界的流行と重なってしまったため、企業の利用実績が出遅れている。しかし、メールマガジンやホームページを活用した広報・周知を行っているため、当該機器への問い合わせは増加している。今後、技術者研修や企業からの技術相談など、あらゆる機会を通じて今回導入した機器の周知を積極的に推し進めて、十分な活用を図っていくこととする。